

## 『読んで分かる中世鎌倉年表』正誤表

次のとおり、誤り及び補注を付すべき部分がありましたので、お知らせいたしますとともに、お詫び申し上げます。

なお、『読んで分かる中世鎌倉年表』の記載内容や正誤表に関するお問い合わせは、下記の編集・発行元までお願い致します。

平成22年7月13日現在

ページ数	項目NO.	見出し年号	対象箇所	誤	正
P98	10	明応7年(1498)4月28日	1行目	—	※補注:近年の研究では、鎌倉建長寺の住持職を安堵したのは「古河公方足利政氏」ではなく、「室町幕府第11代將軍足利義澄」とみなされている。
P98	10	明応7年(1498)4月28日	脚注:「玉隠英瑛」の項、本文1行目	臨濟宗大覚寺派	臨濟宗大覚派
P105	26	天文23年(1554)11月7日	見出し年号・および本文1行目	—	※補注:近年の研究では、足利義氏の元服は、弘治元年(1555)11月中旬、下総国葛西城(現東京都葛飾区)で行われたことが確実視されている。
P111	—	—	— 足利家略系図	—	足利家略系図の古河公方「政氏」の弟になっている「顕実」は、弟ではなく、政氏の次子、すなわち「高基」の弟となる。

【お問い合わせ先】  
かまくら春秋社(編集・発行)

TEL:0467-25-2864  
FAX:0467-60-1205